

ソーシャルコミュニティーファーマシーのこれから  
～健康を繋ぐための漢方・ハーブ・アロマの活用～

<講演>

ソーシャルコミュニティーファーマシー（SCP）の地域でのニーズは、地域連携薬局としての機能を基盤に、地域の住民の健康の維持・増進を目指します。これからIoT、AIの活用や導入が急速に進展する中で、これからの医療人は、高いcreativity（想像力）やsocial skills（社会技能）などの人間にしかできないことが求められる。このsocial skillsは、WHO（世界保健機構）では「日常生活の中での様々な問題や課題に、自分で創造的でしかも効果のある対処ができる能力」と謳っているように、日常生活への有効な介入への提案を行います。今回は、健康を繋ぐために具体的な漢方・ハーブ・アロマの活用を講義と実習により、参加者がすぐに導入でき、地域に還元できるようなワークショップを開催します。

WS1-1 漢方の活用と実践

実施内容

まず講義にて、漢方や漢方理論を用いた養生の概念、それらを地域薬局から発信することで期待できる有用な影響について紹介、解説します。その後、実習にて「食品として使用できる」生薬のみを用いて、屠蘇散および決明子をベースにした薬草茶の調合を行います。

WS1-2 アロマの導入

実施内容

まず、香（臭気）の作用と、近年「アロマ」として実施されている具体例を紹介します。講義でエビデンスの確認後、実習では、アロマストーンの作成、アロマスプレーの作成を行います。

WS1-3 ハーブの活用

実施内容

まず、講義は、ハーブの歴史・市場傾向などの基礎知識とハーブを日常生活で活用するための実践方法を行います。実習では、約10種のフレッシュハーブの紹介とスペアミント・ディルを使ったハーブディップソースを作ってみましょう。

今回のワークショップは実習教材を申込みされた方々にあらかじめ郵送させていただきます。（\*8月末までに申込された方にかぎりです。）

また、その他に配送できない資材については具体的な品目をご案内して事前にご準備いただける様にいたします。

当日はオンラインでつながりながら一緒に作業を行なう、オンラインリアルタイム実習形式といたします。実習内容に関する疑問や解決法が共有できる、より実践的なワークショップとするのが目的です。

さらに、事前申込の方々には、健康フェア等に利用できる関連資料も送付いたします。